

戦評用紙

平成 23 年度

北河内地区 新人大会

23年 12月 23日 時刻11:30

男子 【準決勝】

守口ー 72 $\left[\begin{array}{c} 15-6 \\ 23-3 \\ 26-13 \\ 8-28 \end{array} \right]$ 50 同志社香里

第1PD

守口ー⑤⑦⑧⑰⑱ 同志社香里④⑤⑦⑧⑨

お互いに積極的に1対1を仕掛ける展開。守口ーはアウトサイドシュートが決まりだしてリードを広げる。

守口ーはアウトサイドシュートが決まりだし、リードを広げる。

第1PDは15-6で守口ーが9点リード。

第2PD

守口ー⑤⑦⑧⑰⑱ 同志社香里④⑤⑦⑧⑨

守口ーはオールコートにきりかえ、流れをつかみ点差を一気に広げる。同志社香里はタイムアウトで流れを切ろうとするが、守口ーの勢いは止まらない。守口ーが失点も抑え、38-9で折り返す。

第3PD

守口ー⑤⑦⑧⑰⑱ 同志社香里④⑤⑦⑧⑨

立ち上がり、同志社香里はインサイドから得点を重ねる。対する守口ーは速攻やアウトサイドシュートを決めるなど、流れを渡さない。64-22で守口ーがリードを広げる。

第4PD

守口ー⑨⑩⑫⑬⑱ 同志社香里④⑤⑦⑧⑨

同志社香里は最後まであきらめずにゴールを狙う。守口ーとの点差を縮めるが、追いつくには至らなかった。守口ーがリードを守り、72-50で決勝に進んだ。

戦評用紙

平成 23 年度

北河内地区 新人大会

23年 12月 23日 時刻13:00

男子 【準決勝】

枚方四	53	[14-8 6-8 13-9 20-9]	34	寝屋川三
-----	----	---	-----------------------------	---	----	------

第1PD

枚方四④⑤⑦⑧⑭オールコートプレス 寝屋川三④⑤⑥⑧⑱オールコートマンツーマン

枚方四はオールコートで仕掛け、相手のミスを誘い、速攻を出す。ハーフコートでは⑤⑭のスクリーンでインサイド攻撃。隙ができたところを外からドライブ。中・外のバランスで攻め、リードをとる。寝屋川三はプレスに苦しみながらも何とか得点を重ね、14-8と喰らいつく。

第2PD

プレスに慣れ始めた寝屋川三は⑫の連続得点で追い上げにかかる。枚方四はよく攻め

るもシュートが決まらず、得点が伸びずに悪いムード。しかし、ハーフコートの守りでねばり、けっして相手のペースにさせない。五分五分のやりあいとなり、20-18枚方四が2点リードで前半を終了。

第3PD

互いによく守り、ロースコアのペースは変わらず。しかし、枚方四⑤の高さを止めることが

できず、4連続得点でリードを広げていく。枚方四のペースになりそうなところを寝屋川三⑦の3P、

④のカットインで得点を入れ返し、2ケタリードを許さない。33-25と枚方四がややリードを

広げて第4PDへ

第4PD

枚方四⑤の勢いは止まらず、得点とリバウンドに絡み、枚方四のが加点。残分4、

39-25このゲーム最大のリードが広がる。しかし、寝屋川三はここから連続得点、残分3で9点差

まで縮め、43-34とくらいつく。枚方四のはあわてずインサイド。3P、速攻と再びリズムをつくり

最終53-34で終える。枚方四の守りの堅さ、⑤を中心としたオフェンスバランスが光った。

寝屋川三も最後まで粘り強く戦ったが、枚方四の個の力が勝ったゲームであった。

戦評用紙

平成 23 年度

北河内地区 新人大会

23年 12月 23日 時刻9:00

女子 【準決勝】

東香里	52	{ 13-6 12-14 16-6 11-13 }	39	枚方四
-----	----	--	----	-----

第1PD

東香里④⑤⑥⑨⑩ 枚方四④⑤⑦⑨⑩でスタート

東香里はオールコートマンツーマン、枚方四はハーフマンツーマンでスタート。

序盤、枚方四⑦のハイポストからのドライブ、東香里⑨のステップイン、⑥の3Pで5-2

その後、枚方四は外からのシュートを狙うが入らない。対する東香里は中と外のバランスの良いオフェンスで得点を重ね、13-6で東香里リードで1P終了。

第2PD

東香里④⑤⑥⑦⑧ 枚方四④⑤⑦⑨⑩でスタート

お互い最初のオフェンスで得点するが、先に流れをつかんだのは枚方四。

④のミドルシュート、⑨の3P、⑩のドライブ、⑩のミドルシュートで17-18で逆転する。

東香里もオールコートのディフェンスからスティールを奪い、流れを引き戻し、

前半25-20で東香里の5点リードで前半終了。

第3PD

東香里④⑤⑥⑨⑩ 枚方四④⑤⑦⑨⑩でスタート

東香里がディフェンスでリズムをつかみ、オフェンスでもセットプレーから次々と得点し、34-22と

点差が開いたところで枚方四はタイムアウト。その後、枚方四は立て直しをはかるも41-26で

第3PD終了。

第4PD

東香里⑤⑧⑩⑪⑭ 枚方四⑤⑦⑨⑩⑪でスタート

東香里は思い切りのよいシュートを打ち、また、シュートが外れてもオフェンスリバウンドにもよく

飛び込み、得点につなげる。一方枚方四はなかなか流れをつかめず、残り5分でタイムアウトをとる。

タイムアウト後、枚方四はディフェンスをがんばり、得点するが、52-39で試合終了。

枚方四は最後まであきらめずに戦ったが、東香里が決勝にコマを進めた。

戦評用紙

平成 23 年度

北河内地区 新人大会

23年 12月 23日 時刻10:30

女子 【準決勝】

杉	43	[5-15 13-12 12-15 13-10]	52	長尾西
---	----	-------------------------------------	----	-----

第1PD	杉④⑤⑦⑧⑭ 長尾西④⑤⑥⑦⑧
両チームオールマンツでスタート。杉は長尾西の厳しいディフェンスに苦しみなかなか得点できない。	
長尾西は⑤を中心に得点を重ね、さらにスティールからの速攻が連続で決まる。杉はタイムアウトをとるが	
得点できない。第1ピリオド 5-15で終了	
第2PD	杉④⑤⑦⑨⑭ 長尾西④⑤⑥⑦⑨
杉はリバウンドをよくとるが、シュートが決まらず離されていく。しかし残り1分を切ってから杉⑭の	
バスケットカウント、3ポイントなどで一時は16点差あった点差を一気に縮め、良い雰囲気	
前半を終えることができた。第2PDを終えて 杉18-27長尾西	

第3PD	杉⑤⑦⑧⑨⑭ 長尾西④⑤⑥⑦⑧
杉⑨のドライブからのバスケットカウントで後半が始まる。杉の良い流れが続くと思われたが長尾西も④の	
インサイド、⑦のドライブなどで対抗し、一進一退の攻防となる。点差は大きく動かず、	
杉30-42長尾西で終了。	
第4PD	杉④⑤⑦⑧⑭ 長尾西④⑤⑥⑦⑩
杉⑭、⑤の3Pなどの連続得点で一気に7点差まで追い上げる。長尾西はタイムアウトをとり、	
⑤を中心に反撃し、これ以上の追い上げを許さない。長尾西が粘る杉を抑え、決勝に進出した。	

戦評用紙

平成 23 年度

北河内地区 新人大会

23年 12月 23日 時刻14:30

女子 【決勝】

東香里	42	{ 11-13 5-14 15-8 11-17 }	52	長尾西
-----	----	--	----	-----

第1PD

東香里④⑤⑥⑨⑩ 長尾西④⑤⑥⑦⑧

両チームオールコートマンツーマンでスタート。両チームともディフェンスをうまくかわしながら、ゲームを進めるが、要所でキャッチミス・パスミスが目立ち、なかなか得点が伸びない。

東香里は⑨のシュート、長尾西は⑦のシュートで点を重ねるが両チームとも流れが掴めないまま11-13で第1ピリオド終了。

第2PD

東香里④⑤⑥⑧⑨ 長尾西④⑤⑥⑦⑫

第2PD開始1分、長尾西は⑥の3Pで流れを引き寄せ、⑦のドライブ・⑤のバスケットカウントなどで得点を重ねていく。長尾西はディフェンスでも粘り強さを見せ、東香里に簡単に得点を与えない。

東香里は⑤の1on1で対抗するが、長尾西の⑥がブザービーターで3Pを決め、16-27で前半終了。

第3PD

東香里④⑤⑥⑧⑨ 長尾西④⑤⑥⑦⑧

開始直後、東香里は⑤のゴール下・④の連続点を機に勢いに乗る。東香里はディフェンスでも長尾西の⑤をうまく抑え、得点を与えない。長尾西は⑩の3Pなどで反撃を試みるも、シュートがリングに嫌われ、流れが掴めない。東香里は得点をコツコツ重ね、31-35で第3ピリオド終了。

第4PD

東香里④⑤⑥⑧⑨ 長尾西④⑤⑥⑦⑧

長尾西は④の1on1・⑤のポストプレーで得点を重ね、流れを掴もうとするが、東香里も⑤⑨の時間帯が続く。しかし徐々に長尾西のディフェンスが機能し始め、東香里の得点が止まる。

東香里は⑧のステップバックからの3Pや⑤の1on1で得点を取るが、最後、長尾西の勢いは止められなかった。両チームとも新しい力がぶつかり合い、決勝戦にふさわしい試合となった。

戦評用紙

平成 23 年度

北河内地区 新人大会

23年 12月 23日 時刻16:00

男子 【決勝】

守口ー

{ 10-12
13-7
11-7
14-11 }

枚方四

第1PD

守口ー⑤⑦⑧⑩⑪オールマンツーマン、枚方四④⑤⑦⑧⑭ハーフマンツーマン

圧倒的なオフェンス力で勝ちあがってきた守口ーと、堅い守りで勝ちあがってきた枚方四の対決。

開始早々、枚方四は⑦の鋭いドライブインや、リバウンドシュートで攻めるがシュートが決まらない。

対する守口ーも⑤⑩の1on1から得点を狙うが点につながらない。残り3分で枚方四は⑦の3Pと

⑤のミドルシュートで点差を4点に広げるもお互い攻め手に欠け、10-12で第1PD終了

第2PD

守口ー⑤⑦⑧⑩⑪、枚方四④⑤⑦⑧⑭でスタート

守口ーは⑦の積極的なオフェンスを起点に得点を重ねる。対する枚方四も⑦のミドルシュートで

応戦する。一進一退の攻防が続くが、守口ーは枚方四ディフェンスを攻めあぐね、また、枚方四は

シュートが決まらずこう着状態が続く。残り1分半を切ったところで守口ーは⑩がフリースローを2本

決め、その後華麗なアシストやスティールで流れを引き寄せる。23-19の守口ーのリードで前半終了。

第3PD

守口ー⑤⑦⑧⑩⑪、枚方四④⑤⑦⑧⑭でスタート

枚方四は前半ディフェンスを頑張っていた⑧が早々に4つ目のファウルを犯し、ベンチに下がってしまう。

守口ーは⑩と⑤のコンビプレー、枚方四は④のカットインや⑤のゴール下で攻めるが得点につな

がらず、無得点が続く。攻撃の口火を切ったのは守口ー⑤のミドルシュート。その後も守口ーは⑩が

枚方四の厳しいディフェンスを破り、得点を重ねる。対する守口ーは⑩を投入し、高さで勝負をはかるが、

終了間際に守口ー⑩の3Pが決まり、34-26で終了。

第4PD

守口ー⑤⑦⑧⑩⑪、枚方四④⑤⑥⑦⑨でスタート

守口ーは⑤のステップイン、対する枚方四も⑤のゴール下で応戦する。枚方四はルーズボールなどを

がんばるが、守口ーの厳しいディフェンスに少しずつ押されていく。攻めあぐねる枚方四に対して

守口ーはこの試合絶好調の⑩が鋭いドライブからの得点や抜群のボールキープ力、アシストなど

高いレベルのプレーを次々と見せ、ゲームを支配する。残り2分、枚方四は厳しいオールコート

ディフェンスから得点を重ねるも、守口ーは要所で⑤⑩の3Pが決まり、48-37で優勝を決めた。

お互いのチームのディフェンスは見事であったが、その中でも守口ー⑩の好プレーが光ったゲームだった。